

ストックボイス

『バロンズ拾い読み』 2016年9月19日号

2016年9月20日（火）午後10時13分ごろから スタジオ/電話

エグゼトラスト株式会社

『バロンズ拾い読み』 編集人

川田重信

原稿要旨

4. The Trader 利上げ懸念はあったものの指数は上昇 慎重なムードの中で今週 FOMC が開催される **【米国株式市場】**

村田

先週は上下に大きく動いた日もありましたが、週間ベースでは小動きでした。そして昨夜月曜日も高く寄り付いて日中だらだら下げて、終わってみれば小安い一日でした。

川田

今週は FOMC が水、木曜、それに日銀の金融政策決定会合もあります。市場の注目がそこあたりに集中しているので大きくは動けない様子ですね。

ただし概ねマーケットはしっかりです。

主要指数では目立っているのがナスダック総合の動きです。これはアップルの値上がり指数的上昇に大きく寄与しています、新型 iPhone7 の受注好調が手掛かりのようです。昨日はそのアップルが下げたことで他の指数よりナスダック総合の下落率は大きかったので

すが。実際にアップルは昨年何度か 130 ドル台を付けて下落に向かいましたが、5 月 10 日ごろに大底 (90 ドル超) を付けてそこからじわじわ上昇を続け直近は 115 ドル前後です。やはりアップルが上がるとナスダック総合の指数は強いです。

S&P500 指数とダウは先週週間では各々プラスでした。しかしレーバーデー (9 月 5 日) 以降の 10 取引日で 7 日間はマイナスでした。それくらい様子見の相場付きということです。

ところでこれで S&P500 指数は 8 月 15 日の最高値 2190 から 2.4% 下がった 2139 です。波乱の 9 月相場らしく、株価の上下動が 1% を超える日が多く (12 取引中 4 回 = 3 回に 1 回) になりましたが結果的にはそれほど相場水準は動いてないですね。8 月末の引け値 2179 からは 1.8% の下落。まだまだおとなしいように思われます。

村田

川田さん、この先嵐が来るのでしょうか？

川田

9 月は相場が下がりやすい月として知られています。その 9 月もいよいよ下旬に入ります。そして過去 10 年間に限れば来週 9 月 19 日からの 2 週間は最も相場が下がりやすい時期という調査があります。

村田

つまり、ここからが危ないと？

川田

過去 10 年のマーケットのマーケットだとその確率が高いということです。

S&P500 指数でいうと過去 10 年で 7 回が下がっていて中央値（5 番目に下がった年 2014 年がマイナス 2.1%で 6 番目が 2012 年のマイナス 0.7%）その真ん中はマイナス 1.4%
 $(-2.1-0.7) \div 2 = -1.4\%$ 。

平均値だと 2008 年（=12.4%）、2011 年（=マイナス 8.7%）が大きくマイナス 2.7%にもなります。

ただし通年で S&P500 指数がこの 10 年間で下がったのは 2008 年の暴落（マイナス 38.49%）の年だけ。2011 年と昨年 2015 年はほぼフラットで配当混みならプラス。（以上 添付 PDF の 1 ページ）

村田

じゃあ、ここを乗り越えると明るい展望が開けるのですか？

川田

そうですね、10 月上旬からは買い場到来になるかもしれないので、準備する期間でもあるといえます。それでも 2008 年はその後も 09 年 3 月まで暴落が続いた。2012 年もしばらくはダメ。2014 年はひやりとした。ただしおおむねその後は相場が上がっています。その辺はファンダメンタルズもよく見ないとダメですが、季節的にはとにかくいろいろな出来事に過敏に反応しやすい時期になるようです。

Industry Action

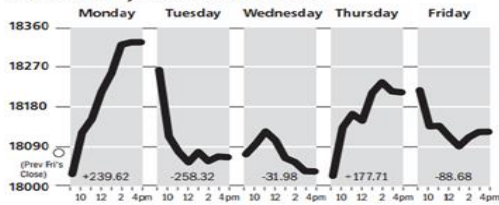
Performance of DJ U.S. Ind, ranked by wkly % chg. *



* For breakdown see page M49. Source: S&P Dow Jones Indices

FIVE-DAY DOW COMPOSITE

Grinding Higher: In an up and down week, the Dow managed to grind out a 0.2% rise amid heightened volatility and uncertainty. Exxon Mobil fell 3.5%.



Apple Inc.

NASDAQ: AAPL - 9月19日 19:59 GMT-4

113.58 USD +1.34 (1.17%)

時間後取引: 113.40 +0.16%

1日 5日 1か月 3か月 1年 5年 最長

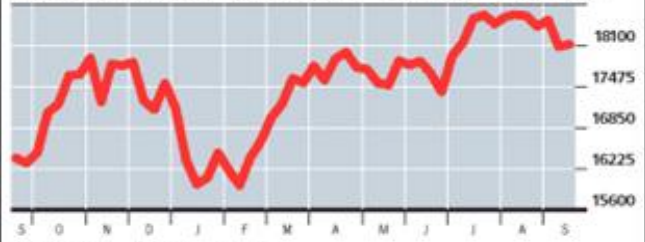


始値	115.19	時価総額	6085.77億
高値	116.18	株価収益率	13.27
安値	113.25	配当利回り	2.01%

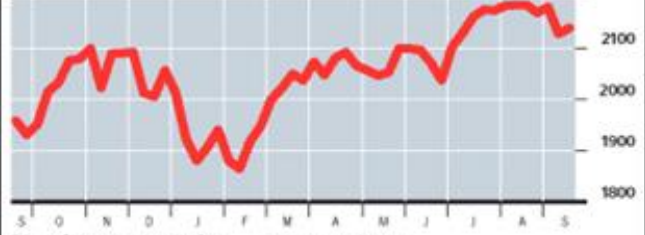
ロイター - MSN マネー

免責事項

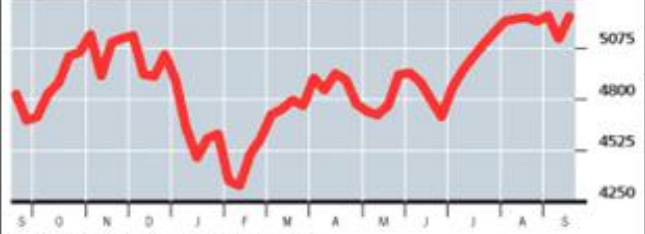
Dow Jones Industrials CLOSE 18123.80
PERCENTAGE CHANGE: 52-Wk +10.61 YTD +4.01 Wkly +0.21



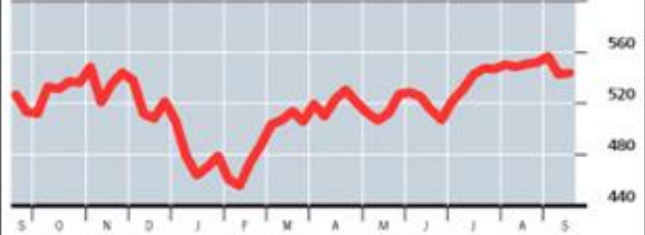
S&P 500 CLOSE 2139.16
PERCENTAGE CHANGE: 52-Wk +9.25 YTD +4.66 Wkly +0.53



Nasdaq Composite CLOSE 5244.57
PERCENTAGE CHANGE: 52-Wk +8.65 YTD +4.74 Wkly +2.31



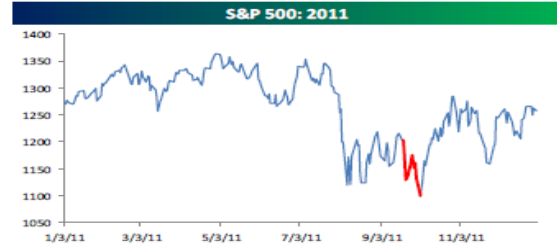
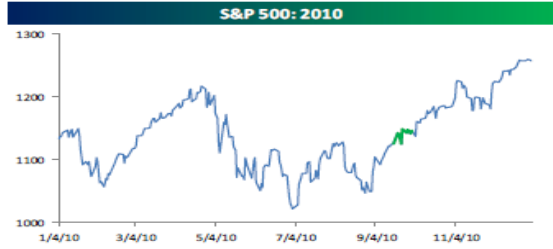
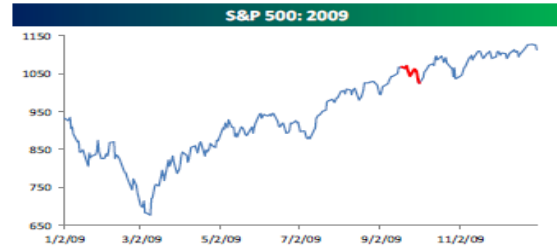
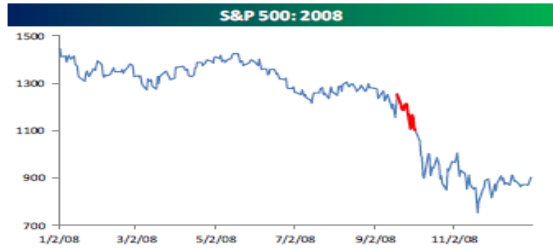
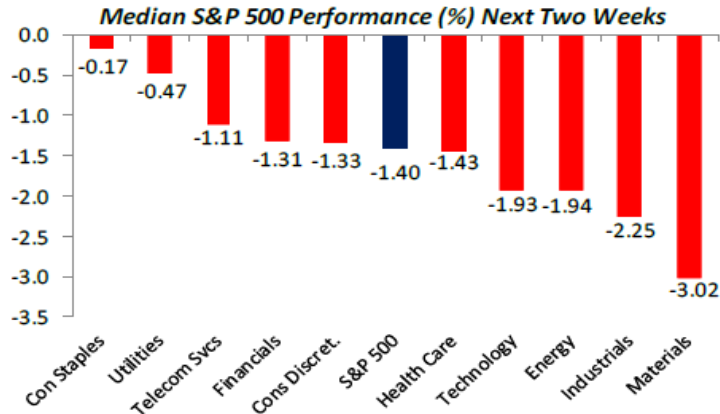
Barron's 400 CLOSE 543.83
PERCENTAGE CHANGE: 52-Wk +3.25 YTD +5.30 Wkly +0.20

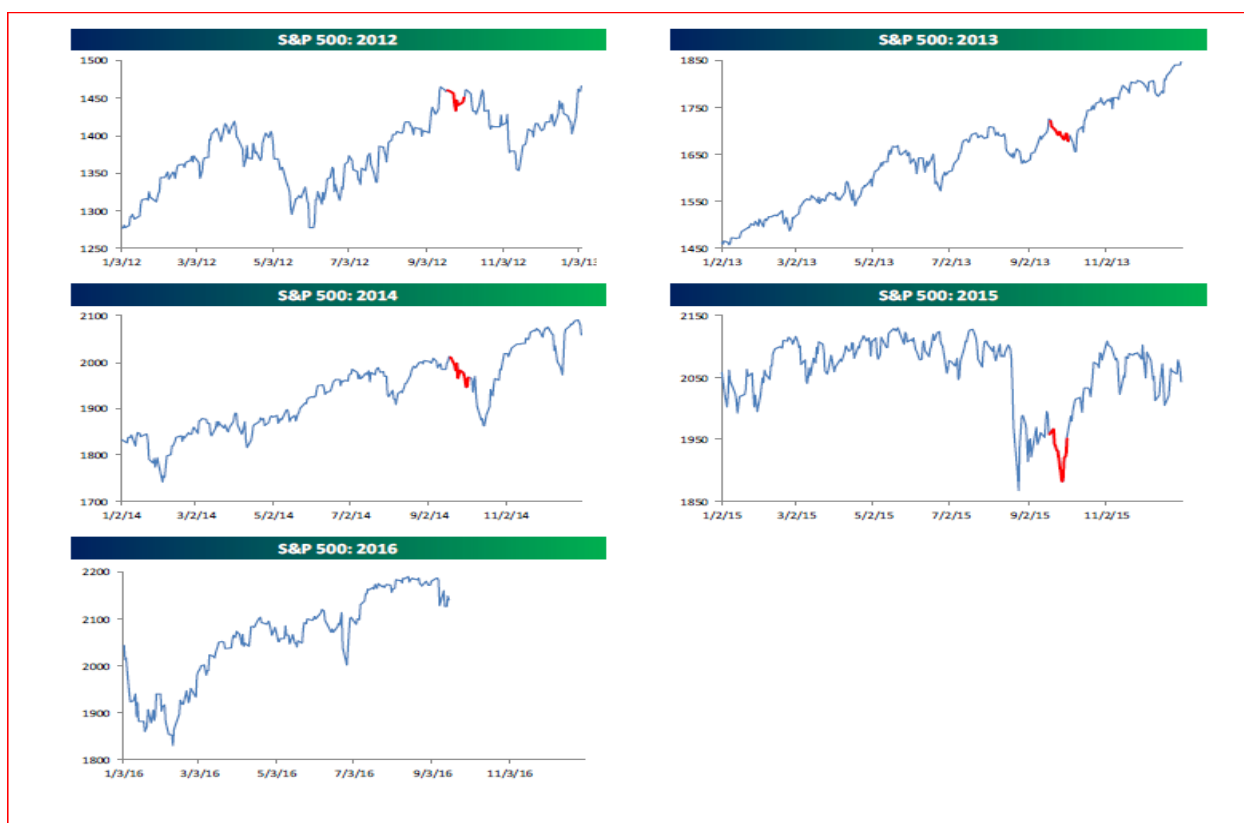


Source: Barron's Statistics

S&P 500 and Median Sector Returns - Next Two Weeks (9/19 - 10/3)

Sector	Median Change (%)	Percent of Time		Last Ten Years - Percent Change (%)									
		Positive	Outperforms S&P 500	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006
Con Staples	-0.17	40	70	1.4	-0.2	-3.8	0.7	-4.5	1.2	-0.2	-3.1	0.7	-1.2
Utilities	-0.47	40	80	2.6	0.0	-2.8	1.9	-3.0	2.3	-3.9	-7.8	-0.9	1.8
Telecom Svcs	-1.11	40	80	-1.9	-0.8	-3.2	0.7	-2.7	3.1	-1.4	-8.3	1.4	2.5
Financials	-1.31	20	40	-0.1	-1.6	-3.3	-1.0	-10.3	-0.7	-5.7	-16.3	0.7	2.1
Cons Discret.	-1.33	30	40	0.4	-2.3	-1.5	-1.2	-10.2	2.2	-4.9	-15.1	-0.8	3.0
S&P 500	-1.40	30	-	-0.3	-2.1	-2.5	-0.7	-8.7	1.8	-4.0	-12.4	0.7	1.2
Health Care	-1.43	30	80	-3.8	-0.9	-2.0	2.4	-6.0	1.8	-2.2	-4.9	0.9	-0.2
Technology	-1.93	40	80	0.2	-2.1	-1.8	-2.2	-8.1	2.1	-3.3	-12.6	2.8	1.7
Energy	-1.94	20	30	1.6	-5.6	-2.4	-1.4	-12.8	5.1	-5.6	-15.9	-1.1	-1.5
Industrials	-2.25	30	20	-0.8	-3.1	-3.2	-1.4	-10.4	1.9	-6.4	-17.2	0.5	2.8
Materials	-3.02	30	10	-1.4	-4.1	-2.9	-3.1	-16.1	1.3	-7.5	-23.2	1.0	0.1





5. Up And Down Wall Street 米国債の利回り上昇 【コラム】 S&P500 指数が 8 月のピーク時から 3%も急落した背景にはトランプ氏の支持率上昇も

村田

さて、その相場を揺さぶる最大の要因にもなりえる金融政策ですが、『バロンズ拾い読み』にはそのあたりについて言及はありましたか？

川田

もう 9 月利上げの確率は相当に低いのであまり目立った扱いはありません。実際にマーケットでは今週の FOMC では利上げは無いというのが大方の見方です。（9 月の利上げ確率は 15%、12 月までが 48%）

具体的には米商務省が先週発表した 8 月の小売売上高では前月比 0.3%減で 5 か月ぶりのマイナス。また自動車、ガソリン、建設資材などを除くコア小売売上高が 2 カ月連続で 0.1%減となり、市場予想を下回りました。

また鉱工業生産も 8 月に前月比 0.4%低下で 3 か月ぶりのマイナスです。それに先立って発表された 8 月のサプライ管理協会 (ISM) 製造業景況指数は製造業景気の拡大・縮小の境目である 50 を下回りっています。

そういう中でも 5 番のコラムでは「トランプ氏は先週、FRB がオバマ政権末期の市場や経済を良く見せるために金利を低く抑えているという非難を繰り返した。」

実際に出てく利上げを正当化するようなデータは出てこないわけですからこの非難は当たっていないのではないですか？なんにでも吠えて難癖つけるのがトランプ流でしょうか？その手法とはもう決別してほしいですね。

1. Penta Millionaires: The New Rising Class 新たな資産家の台頭 資産と共に悩みも増大

【富裕層】

村田

ところで『バロンズ拾い読み』ですが、先週は退職後やシニアの生活設計やそれに伴う資産管理の問題でしたよね？今週の目玉記事はどうですか？

川田

今週のカバー記事は米国の富裕層の実態と彼らの抱える問題についての特集です。

今週号はペンタ特集と言います。ペンタつまり「5」です。日本で富裕層は億万長者、米国だとミリオネアと言います。しかし直近では、米国ではミリオネア、つまり 1 億円ぐらいたともう富裕層でもなんでもないということのようでペンタ、つまり「5 ミリオン=5 億円」あって初めて富裕層の仲間入りとされるようです。

村田

富裕層の仲間入りに 5 億円も必要なんですか？

川田

そのようです。聞いているだけでムカついてきますけどね。実際に米国の **Barron's** の読者の平均の金融資産はざっくり 3 億円。日本の『バロンズ拾い読み』の読者もそれくらいだと思いますが？ どうですか？ アレッ（？）

ちなみに、この記事はボストン・コンサルティング・グループがデータを提供しています。

さて、米国には 1 ミリオン以上の金融資産を保有する世帯が 800 万世帯あるそうです。そしてそのうち 1~5 ミリオンドル（1 億円から 5 億円）だと 670 万世帯。

ちなみに米国の人口は 3 億人で世帯数は 1 億 2500 万世帯ぐらいです。そうなる 800 万世帯 ÷ 1 億 2500 万ですから約 6.4% です。

またミリオンダラーの金融資産を保有している世帯数が世界で一番が米国の 800 世帯、ついで中国が約 200 万世帯、日本は 3 位で 110 万世帯です。ちなみに日本の世帯数は 5500 万世帯、 $110 \div 5500 = 2\% = 50$ 世帯に 1 世帯。地域によっても大きく異なると思いますが、イメージ的には高校のクラスメートの 1 人が富裕層の子供？ というぐらいでしょうか？

また富裕層世帯の割合だとスイスが 13.5% で最も高く、バーレーン（12.3%）、ルクセンブルク（12.0%）が続きます。女性、若年が増えているのも直近の特徴とのことです。

また 1 億ドル（100 億円以上）の超富裕層となると米国には 12,406 世帯あるそうです。これくらいの超富裕層になると比率では今度は香港やシンガポールが高くなります。確かに世界中から資産家が集まってプライベートバンキングビジネスが盛んだといえますからね。

あと、米国の富は伝統的に、米国の西海岸と東海岸の産業地帯に集中していましたが「富創造のペースが速い上位 4 都市のうち 3 都市は、ダラス、ヒューストン、サンノゼで、エ

エネルギー、ソフトウェア、ハイテク業界が生み出した新たな富が、それらの地域経済を押し上げている」とのことです。

村田

記事はこれら富裕層の人たちのどういう側面に光を当てて何を分析しているのですか？

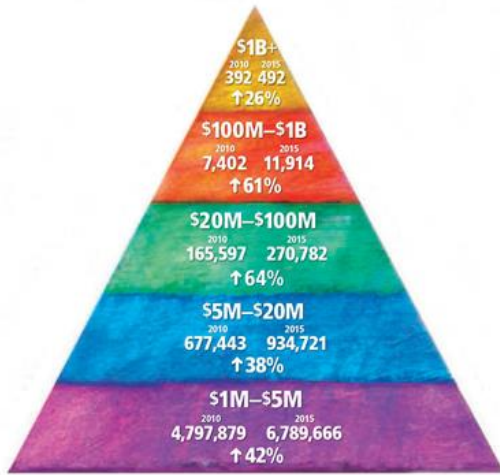
川田

そうですね、彼ら富裕層の抱える悩み、これに焦点を当てています。そしてこう言っています。「最大のポイントは、多額の富が自身の子供たちのやる気を削いでしまい、彼らが意義ある人生を送ることを妨げてしまうのではないかというのが懸念」だと。

要は最初からお金持ちだと子供が何もやる気が出ず、その子の人生がダメになってしまうのではないか？ということのようです。

あとやはりこの低金利下では十分なリターンが得られないので中途半端な富裕層だと長い人生で資金が枯渇してしまう恐れを強調していました。

資産家には資産家なりの悩みがあるものですね。こういうことで悩める日が来るのを期待しながら今日も市場をウォッチしたいですね。



WHAT IT TAKES

The wealth needed to reach the top 10% and 1%.

	WHO ARE THE TOP 10%	WHO ARE THE TOP 1%
Median Income	\$175K	\$750K
Median Assets	\$1.5M	\$7.5M
# of U.S. Households	11.9M	\$1.2M

Source: YouGov 2015 Survey of Affluence and Wealth



STEADILY RISING RICH

Penta millionaires (households with \$5 million or more in investible assets) grew by 5% in 2015 to over one million, establishing a new threshold for this unique market.



Data not reported for 2005 due to discrepancies in sources. IA=investible assets (liquid wealth)-excludes real estate, employer-sponsored retirement plans, business partnerships, etc.). In September 2013, the \$100K investible-asset threshold was introduced as the lower limit of affluence. Due to changes in segment definitions and lack of historical data, trending data are unavailable for the near affluent. Source: Phoenix Marketing International Global Wealth Monitor